

| | | | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| クラス番号 | 343 | 担当教員名 | 川島ゆり子 |
| テーマ | 社会的孤立に挑むー地域のなかでのつながりが生み出す支え合いのカー | | |
| 著書・論文 研究課題等 | 著書:『地域福祉論』ミネルヴァ書房 『地域再生と地域福祉』相川書房 『持続可能な地域福祉のデザイン』ミネルヴァ書房 『地域を基盤としたソーシャルワークの展開』ミネルヴァ書房 など 論文:「生活困窮者支援におけるネットワーク分節化の課題」社会福祉学 56(2) 「貧困の中に育つ子どもを支える連携支援プロセスの視覚化」福祉教育・ボランティア学習学会 | | |

ゼミナール概要

キーワード：コミュニティ・ソーシャルワーク 制度のはざま ネットワーク 居場所 見守り 社会福祉協議会

目的、内容、方法等：

地域の中で、助けを求めるともできずに周囲から孤立しているケースがとて多くなってきました。それに対して「それはあの人の問題だから」「自己責任じゃないの？」という声があるのも事実です。でも、本当に「他人(ひと)事」なのでしょうか。私たち一人ひとり、誰もつらい立場になったり、助けてと声を出せない状況になったりする可能性があるのではないのでしょうか。

このゼミでは、一人ひとりの、孤立し生きづらさを抱える人を地域で支えていくための「個別の支援」と、その人の暮らし丸ごとささえていくための「地域づくりのための支援」の連動性について考えていきたいと思えます。

貧困の中で育つ子どもたちとその家族、介護が必要な家族を支えながら地域でのつながりを失っている介護者、働くことができず家に引きこもってしまっている中高年の方など 地域の中で孤立している人に対するアプローチを、文献研究と実践の双方を通じて学んでいきたいと思えます。実践の面では半田市社会福祉協議会と連携し、地域での活動をゼミとして取り組んでいきます。

ゼミでは以下のことを目標として学びを進めていきます

- ① テーマについて書かれている文献資料や統計資料を集め、読み込んでいく力をつける
自分が知りたいことについて、何を見ればよいか、どのようにそれを理解すればよいか という力をつけていきます。
- ② 情報をまとめて、整理する力をつける
資料を集めても、ただ並べるだけでは相手を説得することはできません。ホワイトボードにまとめる、文章にまとめるパワーポイントにまとめるなど、情報を「見せる」力をつけていきます。
- ③ つながる力をつける
何が必要か、どうすればよいかを考えることができたとしても、それを自分一人の力で進めていくことは難しいことが多く、人と協力しながらチームをつくる力をつけていきます。

授業計画：

3 年生前期： 社会的孤立の現状を、さまざまな事例や映像資料、文献などによって学びます。またテーマを決めてグループでの研究・発表も行います。半田市のフィールド活動も実践していきます。

3 年生後期： それぞれの関心が高まってきたテーマを選び、ゼミ内での発表・ディスカッションを進めます。

4 年生前期： 進捗状況をゼミ内で確認し合いながら、卒業論文の執筆を計画的に進めていきます。

4 年生後期： 10 月までには卒論を完成させ、国家試験合格に向けて模擬問題にも取り組み準備していきます。

担当教員からのメッセージ



ゼミでは、「人とのつながり」「地域とのつながり」を楽しめることを目標にしたいと思います。

卒業論文の指導は「厳しくもやさしく！」をモットーに、ゼミ全員が協力し合いながら卒業論文を書きあげてくれることを支援したいと思います。論文作成は決して楽ではありませんが、だからこそ学びがあります。

勉強し、遊び、時には一緒にフィールドにも出かけましょう。エントリーシートには自己紹介もかねて、ゼミで何を学びたいか 何を期待するかを書いてください。